

# お金の使い道

どのような事業に  
お金が使われていますか？

## 平成27年度重点事業

### ◆公共施設等総合管理計画策定事業

事業費：924万円

厳しい財政状況と人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことを踏まえ、長期的な視点から公共施設の最適な配置を進めるため、「公共施設等総合管理計画（マスタープラン）」の策定を進めます。

### ◆合併10周年記念事業 事業費：750万円

合併から10年を迎える節目の年度にあたり、「更なる飛躍を目指す美里町」を町内外にアピールするため、記念事業を行います。



### ◆学校体育館天井撤去等改修事業 事業費：2億2,064万円

大地震の発生時に備えた安全対策として、小中学校体育館の吊り天井を撤去します。（対象校：小牛田小学校、中埴小学校、南郷小学校、南郷中学校）

### ◆農地・水保全管理共同活動支援事業

事業費：1億1,041万円

農業の多面的機能を支える活動組織に対し、交付金を交付し、農地及び農村環境の良好な保全管理を行うとともに、地域で持続的に取り組むことができるよう体制づくりを進めます。

### ◆子ども医療費助成事業

事業費：6,600万円

子どもに関する医療費の経済的負担を軽減するため、0歳児から中学生まで医療費の無料化を行います。



### ◆子育てガイドブック作成事業 事業費：36万円

子ども子育て支援法の施行により、各種施策、各種助成制度及び各施設の情報を総合的、体系的に提供するため、「子育てガイドブック」を作成します。

## ◆まち・ひと・しごと創生に向けた取組について

国は今後、人口減少が加速度的に進行すると予測し、それによる消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷になることを踏まえ、人口減少及び少子高齢化に歯止めをかけ、活力ある日本社会を維持していくためには、地域で住みよい環境や多様な人材の確保、就業の機会の創出などを、国と自治体が一体的に推進する必要があるとし、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月27日には、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

これを受けて、町では、国の平成26年度補正予算による地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用しながら、本町の総合戦略の策定を進めるとともに、人口減少や少子高齢化対策の一環として、次の事業を実施します。

(単位：千円)

取組事業	事業費	主な内容
プレミアム付 商品券発行事業	26,400	3割増商品券の発行による域内の消費喚起を促進します。
低所得者等向け 商品券交付事業	32,858	65歳以上の方で、平成27年度住民税非課税者を対象に、商品券を交付することにより、生活支援を推進します。
まち・ひと・しごと 創生総合戦略策定事業	14,679	地方版総合戦略の策定及び美里町総合計画審議会の運営を行います。
定住促進奨励事業	27,864	町内全域を対象とした奨励制度及び空き家再生制度を創設し、定住を促進します。
不妊治療費助成事業	4,024	高額な医療費を要する不妊治療費の助成を行い、子どもを産み育てられる環境を推進します。
農産物産地形成 促進事業	2,193	そ菜の作付け誘導を促進するため、新規作物の導入及び規模拡大を支援し、農業所得の向上を図ります。
産業活性化促進事業	26,814	産業活性化拠点施設の整備に向け、現状分析及び課題の明確化を図るとともに、基本計画を策定します。

